

小分け業者質問表（大豆乾燥調製施設）

事業者名称 _____

記入者役職氏名 _____

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会
電話 03-5812-8055 ファックス 03-5812-7370

この質問表は書類審査の核心をなすものです。現在の状態をありのままに記入してください。記入された項目について、実地検査で内容の確認を行います。

I、経営及び設備の概況

1、以下の項目にお答えください

創業年月	年	月	
資本金	(	万円)	
事業規模（総生産出荷額）	(	万円)	
総従業員数	(	人)	
内正規社員	(	人)	
稼動開始年月	年	月	
施設の規模	年間処理量（製品出来高）	俵・トン（○で囲む）	
作業人員数	(	人)	
経営の形態	個人ないし単独法人所有	生産組合ないし共同法人経営	
施設は有機専用か、慣行・特別栽培品と併用か			
イ、 <u>有機専用</u>			
ハ、 <u>慣行・特別栽培とも併用</u>			
乾燥調製ラインの台数	(	台)	
乾燥機の処理能力	一回の乾燥可能量	トン（k 1）が	台
		トン（k 1）が	台
貯蔵サイロ（稼動可能数）		トン（k 1）が	本
		トン（k 1）が	本
		トン（k 1）が	本
合計		トン（k 1）	

*単位については、どちらかに○

2、出荷・販売の形態について（回答が複数の場合は、複数に○）

イ、出荷販売は、生産地集荷業者としての販売のみである。

ロ、卸販売業も行っている。

ハ、卸、小売も行っている。

ニ、小袋づめも行っているが、小売販売は行っていない。

ホ、産直等で消費者への直接販売（生協など消費者団体との直接提携含む）も行っている。

ヘ、加工業者との契約販売を行っている。

3、おおよその販売先の数（有機の販売先のみ）

4、年間の生産量（申請の乾燥調整施設で処理できる量を記入）

生產品目	総生産数量（出来高数量）	割合（％）
有機大豆（転換期間中含む）	俵・トン	
特別栽培大豆	俵・トン	
慣行栽培大豆	俵・トン	
計	俵・トン	100%

合計総生産数量に占める有機の割合

%

5、有機栽培大豆を取り扱いはじめての年数。

有機大豆（転換期間中含む）を取り扱い始めて

年

II、乾燥前大豆の受け入れ

1、受け入れ検品の専任担当者は、いますか

イ、はい ロ、いいえ

2、受け入れ時の規格基準はありますか。

イ、はい ロ、いいえ

規格基準がある場合は、内容

（ ）

3、受け入れ時の区分はどのようにしていますか。特に有機栽培品と慣行・特別栽培品の双方を扱う施設の場合、区分方法を正確に記載してください。

4、乾燥前大豆受け入れ時のチェック項目を記載してください

1、
2、
3、
4、
5、

Ⅲ、乾燥調製及び貯蔵

1、乾燥の設備は、有機専用ですか、慣行・特別栽培大豆と併用ですか。

イ、有機専用

ハ、慣行・特別栽培大豆とも併用

3、併用の場合、どのように区分使用していますか。

3、乾燥に使用する設備や器具の有機大豆作業前の清掃はどのようにしていますか。定められているマニュアルの清掃ポイント、清掃方法及びその確認方法を記載してください。

5、調製・選別に使用する機械器具（搬送部分はひとつのパーツとして記入）

機械・機具あるいはラインの部分の名称	目的	有機大豆専用か慣行・特別栽培大豆と併用か	有機大豆で使用する前の清掃方法	清掃記録の有無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無
		有機専用 併用		有 無

6、乾燥後の貯蔵

イ、乾燥後は、サイロに貯蔵し必要時に調製選別、袋詰め出荷する。

ロ、乾燥後すぐに調製選別、袋詰め貯蔵する。

ハ、その他（ ）

7、サイロ貯蔵の場合、サイロの特定方法を記載してください。

8、製品での貯蔵の場合

イ、貯蔵場所は有機専用

ロ、貯蔵場所は慣行・特別栽培品と併用なので区画をわけて有機の表示を行っている。

ハ、貯蔵場所は慣行・特別栽培品と併用なので区画をわけている。

ニ、貯蔵場所は慣行・特別栽培品といっしょだが、特別に区別なく貯蔵している。

IV、包装、出荷

1、製品の包装資材の材質は、なんですか。

2、製品の表示は、どのようになっていますか。

3、製品は、区分保管されていますか。（最終出荷形態になった製品の扱い）

イ、区画をわけ、だれでもわかる表示をして保管している。

ロ、区画をわけているが表示はしていない

ハ、特に区画をわけていないが表示している

ニ、特に区分していない

4、製品出荷時の検品はどのようにしていますか

5、秤の校正はどうしていますか

イ、計量法にもとづく検定を受けている

ロ、分銅などの固定重りにより校正している

ハ、複数の秤の比較計量で校正している

ニ、特に校正していない

ホ、その他（ ）

V、防虫・防鼠対策

1、倉庫は、温度、湿度の管理ができる低温倉庫ですか。

イ、冷蔵設備があり温度、湿度ともに一定に保つことのできる倉庫

ロ、冷蔵設備があり温度は一定に保つことができるが湿度は、一定に保つことができない。

ハ、土壁、樹木、施設の構造が貯蔵用の蔵としてつくられており、厳密ではないが定温に保つことが出来る

ニ、常温倉庫

ホ、その他

2、倉庫における防鼠対策は、どのようにしていますか。

3、倉庫における防虫対策で、薬剤の使用はありますか。

イ、はい（使用薬剤

ロ、いいえ

4、乾燥調製選別ラインの防虫対策はありますか。

5、乾燥調製ラインの防虫対策で、薬剤の使用はありますか。

イ、はい（使用薬剤

ロ、いいえ

6、乾燥調製選別加工区における防虫・防鼠対策はどうしていますか。

7、乾燥調製選別加工区の防虫対策で、薬剤の使用はありますか。

イ、はい（使用薬剤

ロ、いいえ

8、製品保管場所での防虫・防鼠対策は、どうしていますか。

9、製品保管場所での防虫対策で、薬剤の使用はありますか。

イ、はい（使用薬剤

ロ、いいえ

10、施設周辺での防虫・防鼠、発生源対策は、どうしていますか。

Ⅵ、記録と記録の管理

1、所持している記録の種類と目的

種類（記録の名称）	目的	種類（記録の名称）	目的

2、次の記録の原簿の写しを添付してください。

受け入れ伝票もしくはそれにかわるもの

乾燥機稼動記録

サイロなどへの投入・保管記録

調製選別などの記録

出荷指示にかかわる記録

出荷伝票のサンプル（出荷記入のあるもの。価格、出荷先は消してもかまいませんが品名表示は確認できるようにしてください）

出荷時表示ラベルなどの見本

Ⅶ、廃棄物の管理

1、廃棄物の処理方法を明記してください。

資源として使用できるもの
一般廃棄物
プラスチック類

